



たかの
高野たけし

無所属 48歳

逗子市議会議員（5期）

- ・教育民生常任委員会
- ・議会運営委員会

高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

6月10日～24日の日程で第2回定例会が開催されました。市民の皆様から頂いたご意見・ご要望を踏まえ行政当局に質した一般質問の一部をご報告いたします。

■ 新型コロナワクチンの状況は？

本市では5月10日より新型コロナワクチンの接種を開始し、6月20日の段階で全市民のうち1回目の接種が終わった方は15.91%（全国平均13.3%：県平均11.5%）、2回目の接種が終わった方が6.27%（全国平均3.8%：県平均2.7%）となっています。医療従事者、職員など、関係者のご努力により希望する市民に対してのワクチン接種が進んでいることを実感していますが、感染拡大を抑止するためにはさらに希望者への接種を推進していくべきことは言うまでもありません。そこで、今後希望者への接種をどのような方策を持って加速させていくのかと質したところ、集団接種会場では接種時間の短縮を図り対応できる人数を増やしていくとともに、市内医療機関での個別接種を拡大していくとの回答が市長よりありました。

また、厚労省がファイザー社製のワクチンにおける接種年齢を12歳まで引き下げたことに対する本市の対応を確認したところ、医師会や教育機関とも相談しながら慎重に進めていくとの答弁が担当部長よりありました。現段階において12歳までの市民には59歳以下の枠と同時期に、これから満12歳になる市民には誕生日の翌月に接種券を発送する予定とのこと。

さらに、市内でのワクチン接種対象年齢が広がると生活習慣も変わってくるため、接種可能時間や曜日を変更・拡大していく可能性はあるのかと質したところ、個別接種を行なう診療所とも連携し、より多くの希望者が接種を受けられるよう対応していく旨の回答がありました。

政治資金の残り

82,626円

（令和3年3月～令和3年5月の内訳）

支出…ポスター掲示用両面テープ

4,651円

■ 海開き開き後の対応は？

今年は逗子海岸海水浴場が7月16日から9月5日の期間で開設されることに。市としては水難事故防止のための監視活動、砂浜での飲酒やバーベキューの取り締まりを強化するために海水浴場を開設するとの判断に至ったとのこと。ただ、お隣の鎌倉市が海水浴場を開設しないことなどもあり、例年以上に多くの方が逗子海岸を訪れることが予想されることから、安全管理や風紀維持の対策強化を求めました。これに対して市長からは、海岸営業協働組合と連携してマナーアップ警備員を配置、さらに警察にも警備協力を依頼し万全の体制で臨む旨の回答がありました。

また、海水浴場開設期間中にまん延防止等重点措置が発令された際には近隣住民以外、緊急事態宣言発出時には全ての方に来訪しないよう呼びかけるとの回答が担当部長よりあったところです。

■ 環境について意識するきっかけづくり

先日、文化プラザ、市民交流センター、フェスティバルパークを会場とした環境フェスティバルが開催されました。この環境フェスティバルでは様々な観点から自然環境の保全・維持についてアプローチしており、環境教育、意識啓発にも大きく役立つものであると感じました。そこで、今回出展されていたプラスチックの再利用部材を使ったベンチをシンボリックに設置したり、逗子の自然環境をテーマにした写真カレンダーをふるさと納税の返礼品に加えるなど、環境をテーマに活動している市民団体と連携して日常の中で環境意識を高める取り組みを行なってはどうかと提案いたしました。これに対して市長からは、小中学校での環境教育をはじめ、様々な場面で環境に関する啓発活動を強化していきたいとの考えが披瀝されたところです。

～ Topics ～

JR逗子駅前がどう変わるのか!?

JR逗子駅前における民間ビルの新築・建て替え計画に伴い、公民連携プロジェクトがスタートします。ゆとりある歩行空間の確保、憩いが生まれる広場の設置、渋滞緩和に向けた歩車分離方式の導入など、専門家からのアドバイスも受けながらより良い駅前整備に向けて取り組んでいくことに。

どのようなカタチになるのか今から楽しみです。



安心・安全のため新たなツールを活用

民間事業者と連携し、IT技術を活用し地表面の変位を計測して危険回避につなげるシステムの実証実験と、地球観測衛星データを利用したがけ地崩壊予兆抽出の共同研究を実施します。市内に点在するがけ地の危険性を目視点検するだけでなく様々なツールを用いてチェックすることで、安心・安全の向上につながることを期待されます。



お困りごと相談窓口を開設

これまで地域包括支援センターは高齢者の相談・サポートを行ってきた機関ですが、今年度から市民が抱える多様で複雑な市民ニーズに対応するため、各センターに社会福祉士1名を増員し、全ての世代が相談できる窓口を開設しました。お困りごとの際はお近くの地域包括支援センターにご相談ください。



住民パワーで磯焼け対策

近年、逗子海岸西浜ではムラサキウニが増加し、数年前まで大量に生えていた海藻類が全く見えないほどに。今年は5月15日と6月13日の二日間、密を避けながら地域の皆様と一緒にウニ回収。海中にはまだまだ多くのウニが生息しており磯焼けが危惧されることから、こうした活動を継続していきたいと思っています。

また、県立水産技術センターの協力を得て、ウニ取り後の環境変化の調査も行われることになっていきますので、その結果も気になるところです。

※回収したウニは葉山町の石井ファームで堆肥化し、肥料として使用されます。



プレミアム商品券 ～第2弾～

新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ地域経済の回復と活性化を目的に、『逗子応援プレミアム付き電子商品券』が販売されます。今回は逗子市独自のアプリを使った電子商品券とカードタイプ商品券の2パターンを用意し、10月頃の申し込みを予定。購入に際しては逗子市民優先で、ひとり3万円分までの購入が可能になるとのこと。カード発行などにかかる経費の兼ね合いで、プレミアム率はアプリが30%、カードタイプは25%になるそうです。



あなたの声を高野たけしへ

市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せ下さい。

送り先

Tel / Fax: 046-871-7368
E-mail: takano_zushi@yahoo.co.jp